

# 令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会 記録

1 日 時 令和5年6月8日(木) 午後1時50分～午後3時10分

2 場 所 会議室

3 出席者 石原委員 田代委員 桐原委員 猩々委員 熊ヶ迫委員  
校長 教頭 事務長 教務部・生徒指導部・進路指導部・保健部主任  
農業科・生活情報科主任

4 会 順 (進行:教頭)

- (1) 校長あいさつ
- (2) 学校関係者評価委員紹介
- (3) 今年度の計画(案):教頭
- (4) 協議

ア 学校関係者評価委員会

イ 信頼される学校づくりのための委員会

ウ いじめ防止対策委員会

- (5) 質疑応答・意見交換

ア 質問

- ・以前は、伊佐農林高校から推薦を利用して農学部への進学をする生徒もいたが、現在の推薦入試の状況はどうか。
- ・伊佐農林高校では人権同和教育にどのように取り組んでいるか。
- ・「林業に力を入れたい」とのことであるが、杉・檜の育苗など取り組みはできるか。
- ・農林技術科の入学者が減少している要因は、地区内の児童・生徒数の減少のほか、に何が考えられるか。

イ 外部評価委員からの意見

- ・伊佐市の奨学金で、将来伊佐市に戻り、公務員以外に就職した生徒は、奨学金の返済が免除される制度がある。伊佐市の基幹産業は農林業である。高校で農林業に関する専門性を身につけ、伊佐市を離れて進学しても、このような奨学金を利用して将来伊佐の農業を支える担い手になってもらえればうれしい。
- ・対人関係で気にかけていた生徒が、友人も増え学校生活が楽しいと言っていた。また、退学した生徒も、アルバイトをしながら生活のリズムが改善されたと言っていた。先生方の指導のおかげであり、うれしく思った。
- ・リテラシー向上のために教育相談等の個別支援も大事ではあるが、講演会など全体指導を行い、実施後振り返りをさせるなどの取組も考えてみてはどうか。
- ・スクールカウンセラーの派遣回数を増やせないか。